

多摩市基本構想市民ワークショップ報告書

実施結果報告書

2022年10月

目次

1. 市民ワークショップ開催概要	3
2. 市民意見	9
3. 参加者アンケートの結果	24
4. 当日の様子	30

1. 市民ワークショップ開催概要

1. 市民ワークショップ開催概要

1-1. 開催の背景と目的

開催の背景

- 現行の総合計画である、第五次多摩市総合計画をスタートさせた平成22年度当時とは、社会情勢、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。

SDGsやカーボンハーフの目標達成に向けた取組み、気候変動問題への対策や、少子化、高齢化への対応、地域共生社会の実現などの社会のあり方の変化に対応していくとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、刻々と変わる時代や社会情勢、ニューノーマル(新しい日常・創造)の時代に対応可能なつくりとしていく必要があるため、(仮称)第六次多摩市総合計画の策定を進めています。

開催の目的

- 多摩市民が抱く、多摩市の魅力や、将来の多摩市に対する想いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民の多様な視点によって「10年後の多摩市」のビジョンについて意見をもらい、その意見を、「(仮称)第六次多摩市総合計画」における、基本構想(多摩市の将来都市像を描く構想)の策定に繋げることを目的としています。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-2. 開催概要

多摩市総合計画市民ワークショップの開催概要及び意見募集の実施概要

■ 当日の開催概要は下表のとおりです。

項目	概要		
開催日	令和4年10月1日(土)	令和4年10月2日(日)	令和4年10月8日(土)
開催時間	9:40~11:40	14:00~16:00	9:40~11:40
開催場所	関戸公民館	パルテノン多摩	永山公民館
対象者の 選定基準	市内在住の15歳以上の方(住民基本台帳から無作為抽出で選定された3,000名のうち参加を希望する方)		
参加者数	18名	41名	12名
内容	<ul style="list-style-type: none">• 自分の身の周りであった経験や思いを踏まえながら、「将来の多摩市がどのようなまちになってほしいか」に関するテーマについて話し合い、その後に「多摩市の将来都市像(標語)やそのために取り組むべきこと」について話し合う。• 1ラウンド15~25分、合計3ラウンドで、グループごとに分かれた参加者が互いに交流できるようにする。• 「10年後の多摩市はどんなまちになって欲しいか」について意見交換後、それらを基に、多摩市の将来都市像(標語)を各グループで作成し、全体共有を行う。		

1. 市民ワークショップ開催概要

1-3. 実施方法

ワークショップ方法

- 多摩市総合計画市民ワークショップは、3~5人ごとの小グループに分かれたワークショップ形式で開催しました。ワークショップ形式は、話し合いの場において、小グループに分け、参加者がグループ内で知識や考えを共有することで、多様な意見の創出が期待される手法です。

特徴

概要

効果

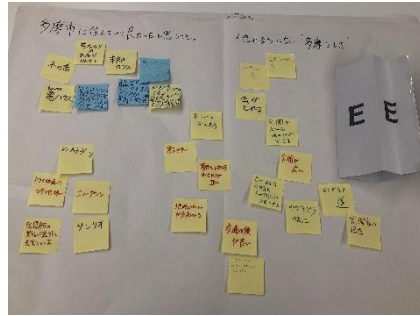
①
3~5人の小グループに分かれる



- 幅広い年代の住民が参加した。
- グループの話し合いでは、普段の生活で接点の少ない年代の参加者とも、意見を交換する。

普段接点のない他者との交流により、多様なアイデアを創出しやすくなる。

②
思いついたことを自由に記載



- 模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載する(発表しないため綺麗に書く必要はない)。
- 出されたアイデアに対して、グループ内で話し合い、既に書かれている内容を確認しながら、自分のアイデアを追記していく。

他者の意見を理解できると共に、新しい意見が創出しやすくなる。

③
付箋による意見の整理



- 付箋に書かれたアイデアの中で、似たアイデアどうしをグループ分けし、模造紙上で整理する。
- 整理されたアイデアを基に、グループ内で意見交換を行うことで、より高度な話し合いを行うことができる。

意見を整理することで、より高度な議論を行うことができる。

④
グループごとに全体発表



- グループで話し合いを行った結果を、全体発表を行って他のグループと共有する。
- 全体とアイデアを共有することで、他のグループの話し合いで出された多様な意見を知ることができる。

参加者全員で意見を共有することで、自グループでは出なかったアイデアに気が付くことができる。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-4. 実施方法

ワークショップテーマ

- 本市の人口・財政状況、話し合いの進め方の説明を踏まえ、3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いました。
- 第1,2ラウンドで「多摩市らしさ」や「多摩市の理想の未来像」について話し合い、出た意見を付箋に書いて模造紙に貼り付けました。
- 第3ラウンドで「多摩市の将来都市像」を、記入した付箋を組み合わせることで1グループにつき一つ作成し、将来像実現のために取り組むべきことは何かを付箋に書き出しました。
- 最後に作成した標語(文章)について、グループごとに発表を行い、会場全体で共有しました。

「多摩市基本構想市民ワークショップ」当日の流れ

第1ラウンド	多摩に住んでいて、良かったと思うことは何ですか？ また、他のまちにはない、「多摩らしさ」とは何でしょうか？
第2ラウンド	「多摩市の理想の未来像」10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しい？
第3ラウンド	「多摩市の将来都市像は何(標語)で、そのために取り組むべきことは何か？
全体発表タイム	第3ラウンドで作成した標語(文章)について、どのような思いを込めたのか、 また将来像実現のために取り組むことについて全体で共有する。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-4. 当日のスケジュール

全体スケジュール

時間		項目	内容	担当
0:00～	5分	開会の挨拶	開催の挨拶	市長・副市長
0:05～	8分	趣旨説明	総合計画策定について説明、ワークショップの趣旨説明	企画課長
0:13～	5分	市の現況説明	市の財政及び人口の状況について説明	企画課長
0:18～	6分	自己紹介	グループの中で自己紹介	参加者
0:24～	18分	話し合い(第1ラウンド)	テーマに沿った話し合い	参加者
0:42～	18分	話し合い(第2ラウンド)	テーマに沿った話し合い	参加者
1:00～	3分	付箋を重要性の視点から並び替え	各グループでの話し合い	参加者
1:03～	31分	話し合い(第3ラウンド)	テーマに沿った話し合い	参加者
1:34～	16分	全体発表	将来都市像と実現に向けて必要なことについて1グループ2分程度で発表	参加者
1:50～	5分	市長・副市長より総評	市長・副市長より各グループ発表に対する総評・閉会の挨拶	市長・副市長
1:55～	5分	諸連絡・アンケート告知	諸連絡・アンケート告知	企画課長

2. 市民意見

2. 市民意見

2-1. 多摩の良いところ・“多摩らしさ”に関する意見

第1ラウンド:①多摩市に住んでいて、良かったと思うこと・②他のまちにはない、“多摩らしさ”とは何か
【全体概要】

■ 目的:

- ・「多摩市の将来都市像」の作成に向けて、市内の施設やイベント、環境、制度などの生活上の様々な要素について、市民が“良いところ”だと感じているポイントを抽出すること
- ・“良いところ”としてあげられたポイントの中で、特に“多摩市らしさ”だと市民が考えるポイントを整理すること

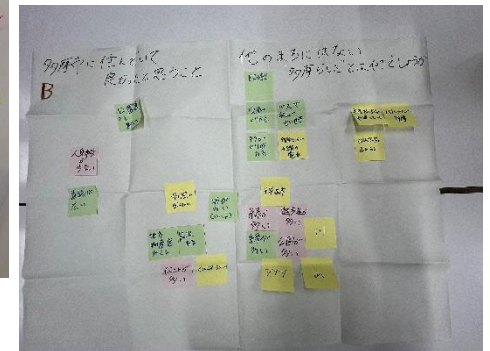
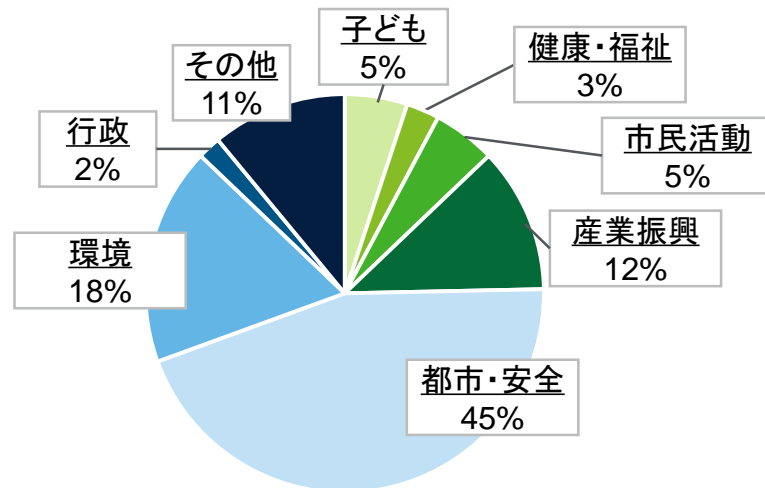
■ 実施方法:

- ・各自が“多摩に住んでいて良かった”と思うポイントを付箋に書き出し、各グループ内で発表しながら意見を共有しました
- ・各グループごとに“多摩に住んでいて良かった”ポイントの中で“ほかのまちにはない、多摩らしい”ポイントを模造紙上で整理しました

■ ワーク時間:18分

■ ワーク結果(概要):

- ・3回のワークショップを通して、計373件の意見が出されました
- ・出された意見の内訳として、「都市・安全」分野に関する意見がもっとも多く、続いて「環境」分野に関する意見が多くなっています



2. 市民意見

2-1. 多摩の良いところ・“多摩らしさ”に関する意見

第1ラウンド: ①多摩市に住んでいて、良かったと思うこと・②他のまちにはない、“多摩らしさ”とは何か
【主な意見】(1/3)

- ワークショップ内で出された意見を、現行の基本計画の分野別計画の6つの分野に「行政・その他」を加えた、計8つの分野に分類しました

“良いところ”として出された意見の中で、
“多摩らしさ”として抽出された意見

子ども	
子育て	子育てがしやすい
	子どもの意見を聞いてくれる
	子どもの遊び場が多い
	学童・保育園が充実している
教育	認可保育園の補助が良い
	教育機関のレベルが高い
	学生が多い
	学校が多い、教育機関が充実している
	子どもと先生との距離が近い

健康・福祉	
健康・医療	病院が多い
	医療補助、子ども医療費が無料
高齢者福祉	高齢者が住みやすい街
障がい者福祉	バリアフリーなど設備がしっかりしている

市民活動	
コミュニティ	地域のコミュニティがある
文化 スポーツ 交流	歴史がある
	地域のイベントが多い
	スポーツと文化が活発
平和・共生	子どもと高齢者の共存
	色々な年齢層の人が暮らしている

2. 市民意見

2-1. 多摩の良いところ・“多摩らしさ”に関する意見

第1ラウンド: ①多摩市に住んでいて、良かったと思うこと・②他のまちにはない、“多摩らしさ”とは何か
【主な意見】(2/3)

“良いところ”として出された意見の中で、
“多摩らしさ”として抽出された意見

産業振興

産業	個人経営のお店もある
	研究施設が充実している
	大型店が多い
雇用	IT企業が多い
	アルバイト先に子ども向け施設などがある
観光	サンリオピューロランドがある
	映画、ドラマ、アニメの舞台になっている
	テレビによく取り上げられる
	桜並木
	イルミネーション

都市・生活

防災	地盤が安定している
	災害が少ない
防犯	治安が良い
都市づくり	ニュータウンが考えて作られている
	1つの場所で用事が済む、商業施設が充実
	景観が良い
	エリア毎に特徴がある
	新しさと古さの共存
公共施設	図書館が多い
	公園が多い
	公共施設が充実している
交通・道路	交通の便が良い、都心へのアクセスが良い
	歩道と車道が分離している
	遊歩道の長さ
	道・建物間が広々としている、道が広い
住宅	団地が多い
	家賃がリーズナブル

2. 市民意見

2-1. 多摩の良いところ・“多摩らしさ”に関する意見

第1ラウンド:①多摩市に住んでいて、良かったと思うこと・②他のまちにはない、“多摩らしさ”とは何か

【主な意見】(3/3)

“良いところ”として出された意見の中で、“多摩らしさ”として抽出された意見

環境

自然環境 都市環境	自然が豊か、緑が多い
	身近に動物・虫がたくさんいる
	空気がきれい
資源	ゴミが各家庭で出せる
	ゴミの処理方法がマニュアル化されている

行政

行政	市役所の方が優しい
	市長のYoutubeが見やすい
	財政が安定している

その他

その他	都会すぎない
	夜が静か
	市民マナーがよい

分野別意見の要旨

子ども	<ul style="list-style-type: none">■ 保育施設や教育機関の充実が、良かった点としてあげられました■ “多摩らしさ”として、保育や教育の質に言及した意見が得られました
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none">■ 病院などの施設面と、医療補助などの制度面のポイントが、良かった点としてあげられました
市民活動	<ul style="list-style-type: none">■ “多摩らしさ”として、市内の歴史や地域イベントがあげられました
産業振興	<ul style="list-style-type: none">■ “多摩らしさ”として、市内のテーマパークやアニメ・映画のモデルの地となっているという意見が多く得られました
都市・安全	<ul style="list-style-type: none">■ 生活のしやすさ・利便性に言及した意見が多く得られました■ “多摩らしさ”として、都市づくり、交通・道路に関するポイントが多くあげられていました
環境	<ul style="list-style-type: none">■ “多摩らしさ”として、市内の自然環境をあげる意見が多く得られました
行政	<ul style="list-style-type: none">■ “多摩らしさ”として、市民と行政の接点の親しみやすさがあげられました
その他	<ul style="list-style-type: none">■ 市民性やまちの雰囲気に関する意見が得られました

2. 市民意見

2-2. 多摩市の未来の理想像に関する意見

第2ラウンド: 10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しいか

【全体概要】

■ 目的:

- ・「多摩市の将来都市像」の作成に向けて、市民が考える多摩市の未来の理想像を整理すること

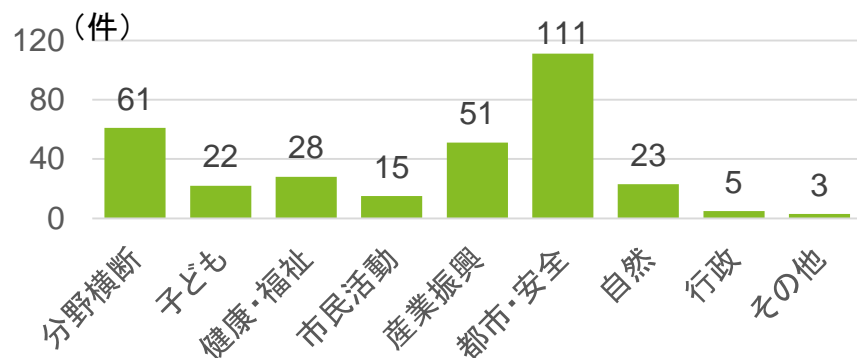
■ 実施方法:

- ・各自が“10年後の多摩市にはどんなまちになってほしいか”の意見を付箋に書き出し、各グループ内で発表しながら共有しました
- ・後続の第3ラウンドの「多摩市の将来都市像」(キャッチコピー)作成に向けて、各グループごとに“未来に向けて重要”だと思うポイントを模造紙上で整理しました

■ ワーク時間: 18分

■ ワーク結果(概要):

- ・3回のワークショップを通して、計258件の意見が出されました出されました※1
- ・意見の内訳として、「都市・安全」分野に関する意見がもっとも多く、続いて分野横断的な意見※2、「産業振興」分野に関する意見が多くなっています



※1分野横断的な意見※2は重複カウントを行ったため、3回のワークショップで出た意見の件数と、各分野の意見を合計した件数は一致していません

※2 どの分野にも分類できない、もしくは複数の分野にまたがる要素・取組から構成される意見

2. 市民意見

2-2. 多摩市の未来の理想像に関する意見

第2ラウンド: 10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しいか

【主な意見】(1/4)

- ワークショップ内で出された意見を、現行の基本計画の分野別計画の6つの分野に「行政・その他」を加えた、計8つの分野に分類しました
- 住人の住み心地や暮らしやすさ、まち全体としての魅力など、1つの分野に分類できない意見について、分野横断的な意見※1として分類しました

分野横断的な意見※1

住みやすさ	どんな人でも生活しやすい
	学生が住みやすい
	テレワークがしやすい
	安心・安全
	ペットにやさしい
まちの魅力	自然の魅力的な活用
	自然を残しながら、まちとして開発されている
	若い人が魅力的に感じる
	企業が事業所を作りたくなる
	住人への価値提供

各分野に分類した意見の中で、
分野横断的な意見とも考えられる意見

子ども

子育て	子育てにお金がかからない
	子育てしやすい
	子どもが多い
	子どもの遊びやすさ
	保育時間、保育園が充実している
教育	大学誘致、学生を呼び込みたい
	教育支援の充実
	学校の質の向上
	学べる街
	学校デジタル人材の不足に対応

※1 どの分野にも分類できない、もしくは複数の分野にまたがる要素・取組から構成される意見

2. 市民意見

2-2. 多摩市の未来の理想像に関する意見

第2ラウンド: 10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しいか
【主な意見】(2/4)

各分野に分類した意見の中で、
分野横断的な意見とも考えられる意見

健康・福祉

健康・医療	医療体制の充実
	受動喫煙者をなくす
地域福祉	福祉や介護の充実したまち
高齢者福祉	歳をとっても住みやすい医療・福祉
障がい者福祉	障がいのある人に優しいまち
	バリアフリー

市民活動

コミュニティ	若い人が市政に参加
	年齢にかかわらず、居場所・集いの場がある
文化 スポーツ 交流	文化・芸術へのアクセスを容易に
	魅力的なイベントが多いまち
	世代間の交流
平和・共生	外国人との共生

産業振興

産業	商店街の活性化
	商業施設の充実
	企業誘致
	人口増加にともなうコンテンツ増加
雇用	長く働ける、高齢者が働きやすい
	農家の存続
観光	インバウンド強化
	街の活用

2. 市民意見

2-2. 多摩市の未来の理想像に関する意見

第2ラウンド: 10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しいか
【主な意見】(3/4)

各分野に分類した意見の中で、
分野横断的な意見とも考えられる意見

都市・生活	
防災	災害への対策
防犯	治安が良い
都市づくり	全ての地域に魅力がある
公共施設	図書館の蔵書や座席数が充実
	市営プール、公園の遊具が充実
	閉校した学校の活用
交通・道路	通勤利便性の向上、バス便の充実
	歩きやすい道路、レンガタイルの整備
	夜でも道が明るい、街灯の整備
	渋滞の緩和
住宅	古い団地の整備
	空き家の活用

環境	
自然環境 都市環境	自然との共存
	緑の保全
	環境問題についてワークショップなどの開催
資源	省エネ
	SDGs、リサイクル意識の向上

行政	
行政	デジタル手続き
	政策内容の充実、政策にとがった個性がある

その他	
その他	他人を思いやれる

2. 市民意見

2-2. 多摩市の未来の理想像に関する意見

第2ラウンド:10年後の多摩市はどんなまちになっていて欲しいか 【主な意見】(4/4)

分野別意見の要旨

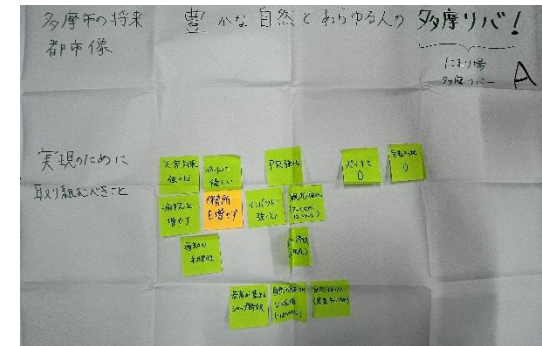
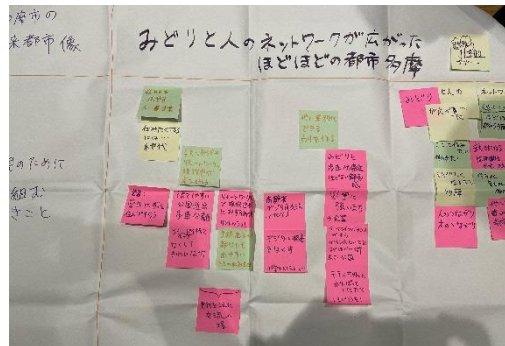
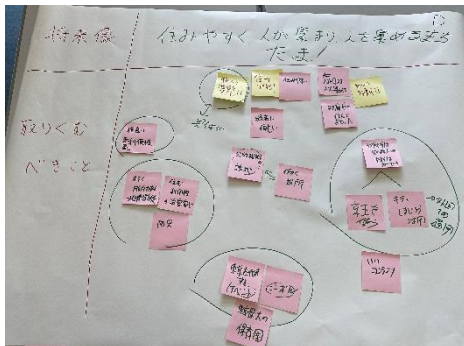
分野横断的な意見	■ 住みやすさをはじめ、市内外の人・企業が魅力を感じるまちになってほしいと希望する意見が多く得られました	環境	■ 自然環境への配慮、市内に残る自然環境を活かしたまちづくりを希望する意見が得られました
子ども	■ 子育てがしやすい環境を希望する意見が得られました ■ 教育に関して、量・質の両面の拡充を希望する意見が得られました	行政	■ 政策内容の充実を希望する意見が得られました
健康・福祉	■ 医療や福祉の拡充を希望する意見が得られました	その他	■ 市民性に関する意見が得られました
市民活動	■ 年齢など属性に関わらず参加できる、イベントや居場所があるとよいという意見が得られました		
産業振興	■ 人・企業が集まる、商店街の活性化や商業施設の充実など、市内の産業の活性化を希望する意見が多く得られました		
都市・安全	■ 安心安全に暮らせる、誰でも暮らしやすいまちづくりを希望する意見が得られました ■ 公共施設、交通・道路に関して、利便性の向上に言及する意見が多く得られました		

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

第3ラウンド: 多摩市の将来都市像と、その実現のために取り組むことはなにか【全体概要】

- 目的:
 - ・ 「多摩市の将来都市像」を作成すること
 - ・ 作成した「多摩市の将来都市像」を実現するために、必要な取組を整理すること
- 実施方法:
 - ・ 第1,2ラウンドをふまえ、各グループで一つの「多摩市の将来都市像」(キャッチコピー)を作成しました
 - ・ 作成した将来都市像を実現するため、取り組むべきポイントを付箋に書き出し、各グループ内で共有しました
 - ・ 作成した将来都市像と、将来都市像に込められた思いについて、各グループの代表者が全体に向けて発表しました
- ワーク時間: 31分
- ワーク結果(概要):
 - ・ 各グループから一つ、計18個の将来都市像を作成していただきました
 - ・ 将来都市像やそこに込められた思いとして、「環境」「活性化」「子育て」「共生」といったキーワードが多くみられました



2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

第3ラウンド: 多摩市の将来都市像と、その実現のために取り組むことはなにか 【第1回目】

各グループの将来都市像・
取組を代表するキーワード

多摩市の将来都市像		将来都市像に込めた思い	取り組むべきこと	
文化 共生 活性化	みんな友達 文化を継承しつ つ生まれ変わる多摩 —友好・文化・改革—	<ul style="list-style-type: none"> 年齢・性別を超えて多摩市の人々が団結する 市内の良い文化の継承、老朽化して使えなくなったものは生まれ変わらせる 	老朽化した施設の改修	子どもを預ける施設に助成金を出し、働きやすくする
活性化 多様性 安全	いつまでも皆が集まり あこがれる 活気ある街	<ul style="list-style-type: none"> 市内の魅力的なものをPRし、人が集まる場所を作る 若者の増加、元気な高齢者、商業の発展などによりまちを活気づける 	企業を誘致する	住民を増やす、外国人を呼び込む
活性化 多様性 安全	いつまでも皆が集まり あこがれる 活気ある街	<ul style="list-style-type: none"> 市内の魅力的なものをPRし、人が集まる場所を作る 若者の増加、元気な高齢者、商業の発展などによりまちを活気づける 	活気ある街	街ぐるみの安全
活性化 多様性 安全	いつまでも皆が集まり あこがれる 活気ある街	<ul style="list-style-type: none"> 市内の魅力的なものをPRし、人が集まる場所を作る 若者の増加、元気な高齢者、商業の発展などによりまちを活気づける 	多様性	産業・観光の活性化
活性化 共生 価値創造	住みやすく、人があつまり、 人を集めるまち たま！	<ul style="list-style-type: none"> まちのシンボル化しやすいもの（ハローキティ、しまじろう）を押し出し集客する 老人、若者、障がいを持つ方に優しい施策で住民が多摩をもっと好きになる 	まちのシンボル	市民への価値をデザイン
活性化 共生 価値創造	住みやすく、人があつまり、 人を集めるまち たま！	<ul style="list-style-type: none"> まちのシンボル化しやすいもの（ハローキティ、しまじろう）を押し出し集客する 老人、若者、障がいを持つ方に優しい施策で住民が多摩をもっと好きになる 	企業との協働、公的機関の誘致	企業との協働
環境 交通 子育て	人生のベースキャンプ、 多摩！	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の維持する 市内移動・交通の確保する 出産施設やチャータースクールの誘致する 	医療環境、出産施設、子育て・教育支援の充実	新しい人材の流入
環境 交通 子育て	人生のベースキャンプ、 多摩！	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の維持する 市内移動・交通の確保する 出産施設やチャータースクールの誘致する 	多摩の情報を外部へ発信	バランスのとれた発展
暮らし 改修 安全	温故知新と都市・田園のハイブリッドにより暮らしのすべてを揃える街、多摩	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」と「働く」のハイブリッドなまちを目指す 現在あるものが、10年後、さらにアップデートされているようなまちにする 	新旧・都農のハイブリッドを進める	子どもが大きくなっても住みたいまちに
暮らし 改修 安全	温故知新と都市・田園のハイブリッドにより暮らしのすべてを揃える街、多摩	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」と「働く」のハイブリッドなまちを目指す 現在あるものが、10年後、さらにアップデートされているようなまちにする 	ニュータウン世代の地域密着	安心・安全な街づくり

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

第3ラウンド: 多摩市の将来都市像と、その実現のために取り組むことはなにか 【第2回目】

各グループの将来都市像・
取組を代表するキーワード

多摩市の将来都市像		将来都市像に込めた思い	取り組むべきこと	
環境 交流 活性化	四季折々の笑顔と元気があふれる 〇〇なまち たまし	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市に住むメリットは様々あるが、「〇〇なまち」に各々がまちの魅力を当てはめ、称えられるようなまちにする 元気・活気のあるまちにする 	緑・歩道の整備、 景観の保全	住民同士のネットワーク構築
子育て 環境 コミュニティ	えがおの子ども・みどりの多摩	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにフォーカスして、若者を取りこむ 子育て支援や、ニュータウン団地を暮らしやすくし、コミュニティを活性化させる 	住民税負担の軽減	子育て支援の充実
市民参画 交流 デジタル	すみから明るく 緑豊かなシェアできる町 たま	<ul style="list-style-type: none"> 市民全体が人間性における明るさをもてるまちにする 意見をシェアすることで、一人一人がつながりを持って接することができる 	市民意見の吸い上げ	物と意見のシェア
子育て 交通 観光	早期リタイア実現の町	<ul style="list-style-type: none"> 学び・暮らし・インフラ・観光を通して、新旧の融合を図る ワークライフバランスのとれるまちにする 	小中学校で市政参画のための授業	デジタル化推進
環境 産業 子育て	全ての世代が豊かに喜びを共存できる緑の街。キティに会える多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 学び・暮らし・インフラ・観光を通して、新旧の融合を図る ワークライフバランスのとれるまちにする 	幼保・小・中の一体化	団地等の有効活用
			交通の拡大	観光資源の充実
		<ul style="list-style-type: none"> 緑と人のネットワーク、アナログ・デジタル両方のネットワークを大事にする 住みやすい・フレンドリーなまちにする 	自然・遊歩道の整備	駅前商業施設の充実
			保育園の充実	交通・道路の利便性向上

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

第3ラウンド: 多摩市の将来都市像と、その実現のために取り組むことはなにか
【第2回目】

各グループの将来都市像・
取組を代表するキーワード

多摩市の将来都市像		将来都市像に込めた思い	取り組むべきこと	
高齡化 モビリティ 市民活動	Newニュータウン計画 “50年前のニュータウンは 50年後をつくる”	<ul style="list-style-type: none"> 高齡者施策のモデルケースとしての市を実現する 50年後の将来も高齡者を中心としたまちを作る 	高齡化社会に対応した 先進的取組	次世代を見守る/育む
			次世代モビリティの開発・実 験・企業誘致	ボランティアの活性化
共生 居場所 安全	キティに逢いに来てい ニコニコ笑顔犬(ワン)チーム TAMA See	<ul style="list-style-type: none"> ペットも含めて住みやすいまちにしたい ハローキティのような楽しいものを押し出すことで、まちに人が来る 安心安全なまちにする 	魅力的な駅・街	ペットフレンドリーなまち
			様々な世代がくつろげる・ 遊べる場所作り	地域のパトロール、防犯対策
改修 子育て 高齡化	未来に向けて変わりつづける 多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代や高齡者も含めて、みんなが未来に向けて変わっていけるという未来像を抱けるまちにする 	古い建物のリノベーション	子育てを応援する
			無駄な土地の活用	高齡化に対応したまちづくり
環境 交流 防災	みどりと人のネットワークが 広がったほどほどの都市多摩	<ul style="list-style-type: none"> 自然を残し、発展しすぎず、衰退もしない持続可能なまちにする 市民同士のつながり・ネットワークが確保された住みよいまちにする 	税収を増やす(人・企業)	世代を超えた交流の場を作る
			ワークライフバランス ほどよい都市感	災害に強いまち

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

第3ラウンド: 多摩市の将来都市像と、その実現のために取り組むことはなにか
【第3回目】

各グループの将来都市像・
取組を代表するキーワード

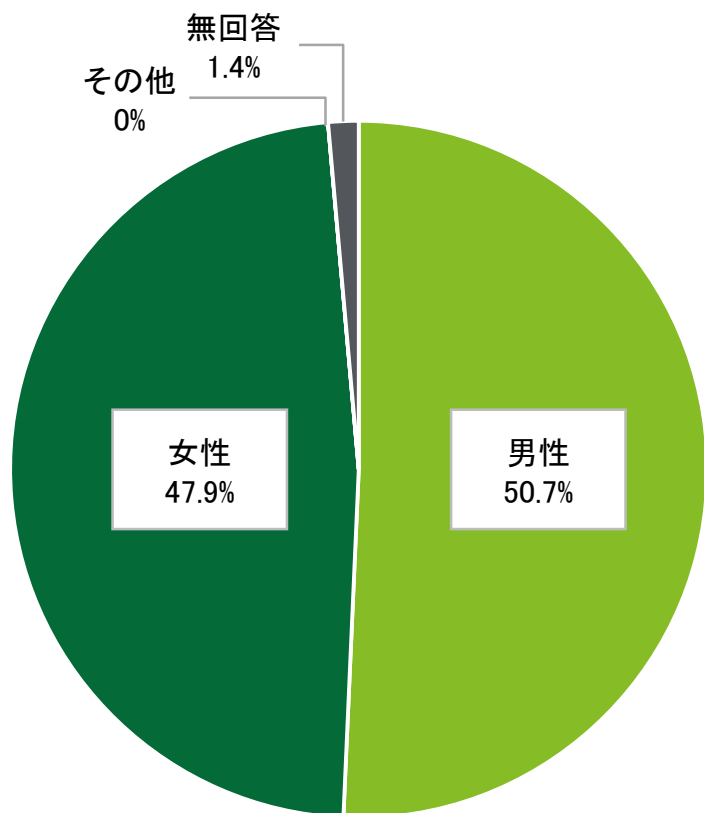
多摩市の将来都市像		将来都市像に込めた思い	取り組むべきこと	
環境 居場所 福祉	豊かな自然とあらゆる人の 多摩リバ! (たまり場、多摩リバー)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場、自然をいかしたまちづくりをする 多摩の魅力をウリに人を呼び込む 	PR、観光強化 イベントの誘致	自然の魅力的な活用 自然体験
改修 市民 参画 福祉	みんなの意見でつくる多摩市	<ul style="list-style-type: none"> みんなの意見を取り入れて、多摩市を作っていく 市民の意見が実現しているとわかるまちにする 	団地のリノベーション 市民が議論に参加する	バリアフリーの拡大
健康 活性化 子ども	ともに成長できるホームタウン 多摩	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が多摩市に定着する 一回外に出ても、また帰ってきたくなるような魅力的なまちにする 	健康に暮らしていける街 生涯学習、 図書館の有効活用	働ける街、商店街の活性化 子どもに優しい取組
自給 自足 共生 多文化	死ぬまで多摩	<ul style="list-style-type: none"> 住民が離れない、好きになっていける場所を目指す 自給自足への取組を行う 	自給自足の意識向上 仕事・農業の両立	高齢者・子どもの共存 多文化共有

3. 参加者アンケートの結果

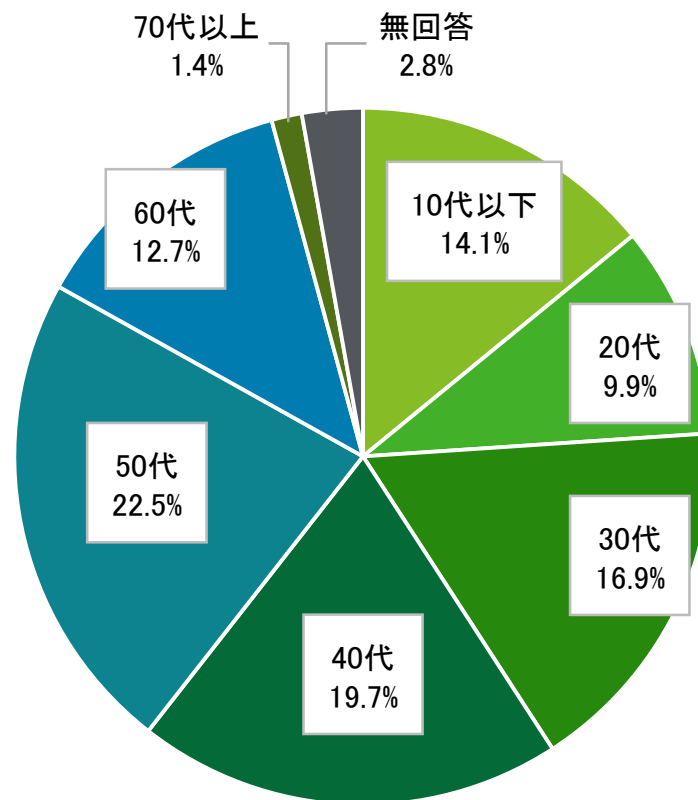
3. 参加者アンケートの結果 属性

性別

- 参加者71名すべての方にアンケートに回答いただきました。
- 性別・年代層ともに偏りなく、参加していただきました



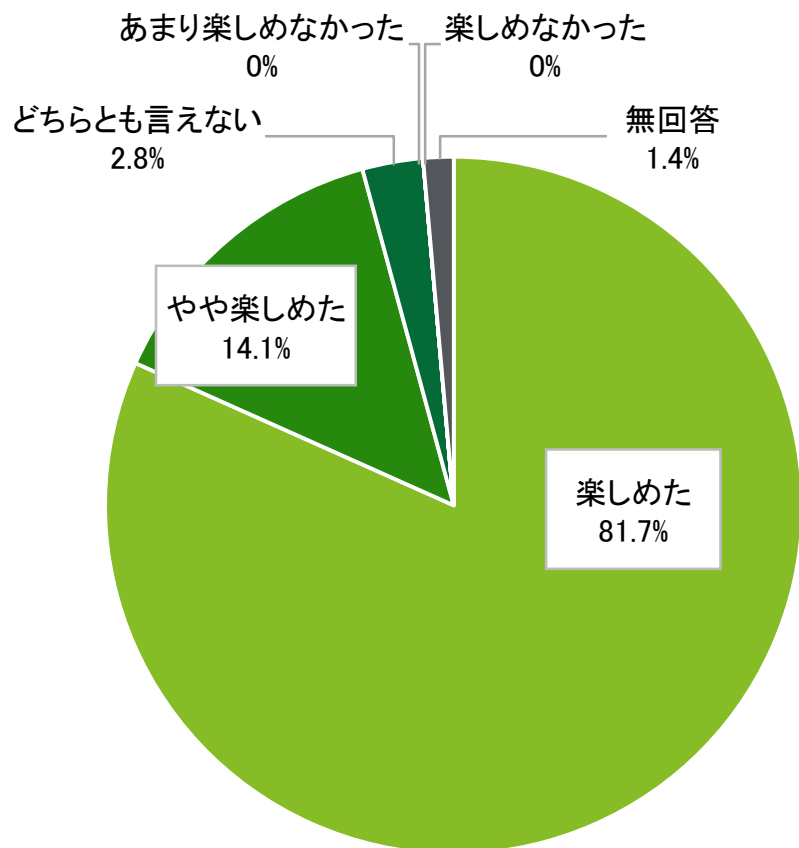
年代



3. 参加者アンケートの結果 満足度(1/2)

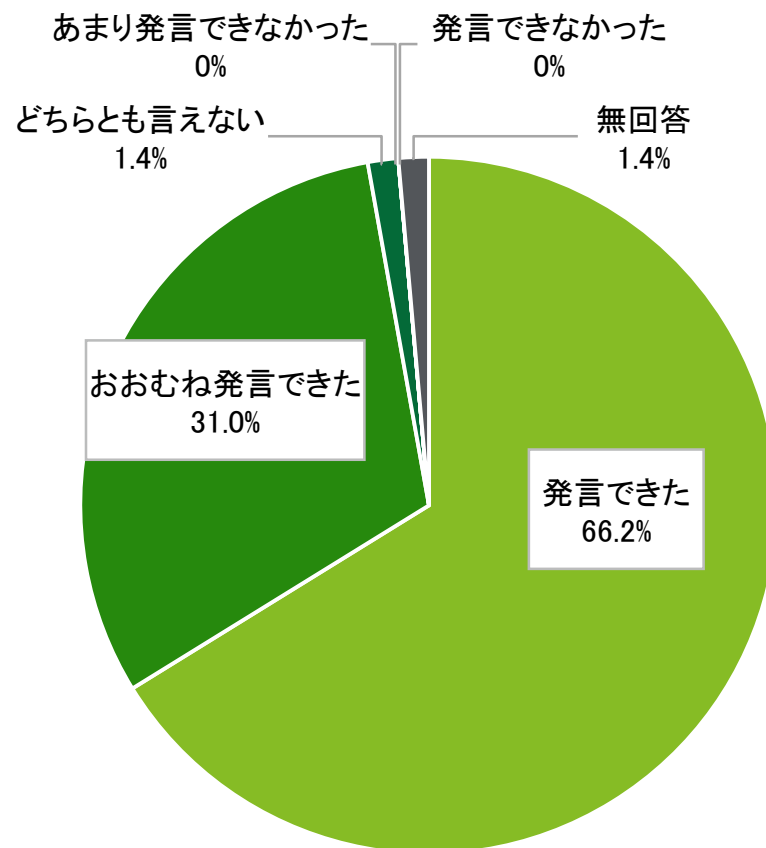
2.1 本日のワークショップはお楽しみいただけましたか

- ワークショップについて、9割以上の方が「楽しめた」または「やや楽しめた」と回答しています



2.2 本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか

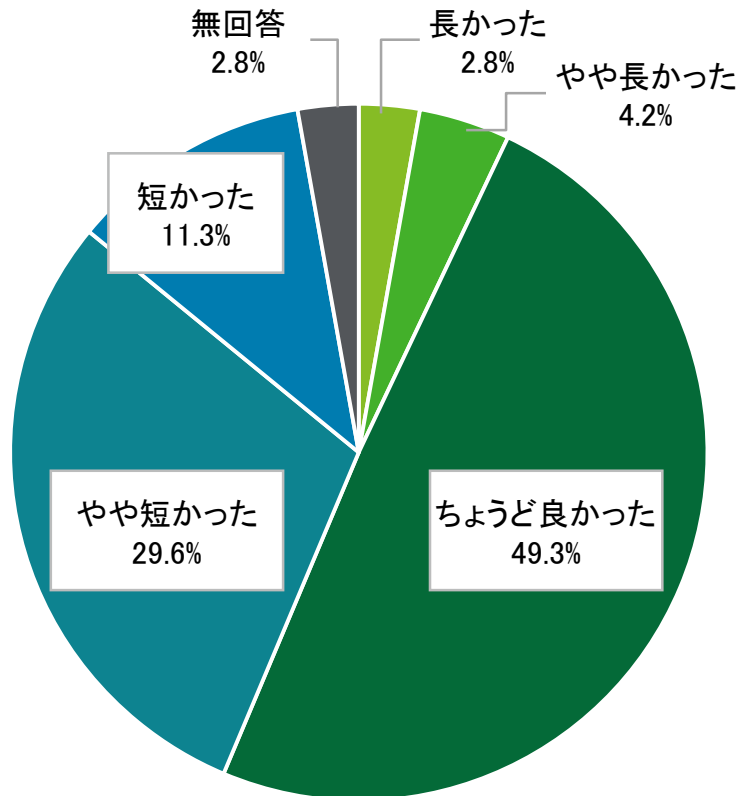
- ご自分の意見について、9割以上の方が「発言できた」または「おおむね発言できた」と回答しています



3. 参加者アンケートの結果 満足度(2/2)

2.3 本日のワークショップの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか

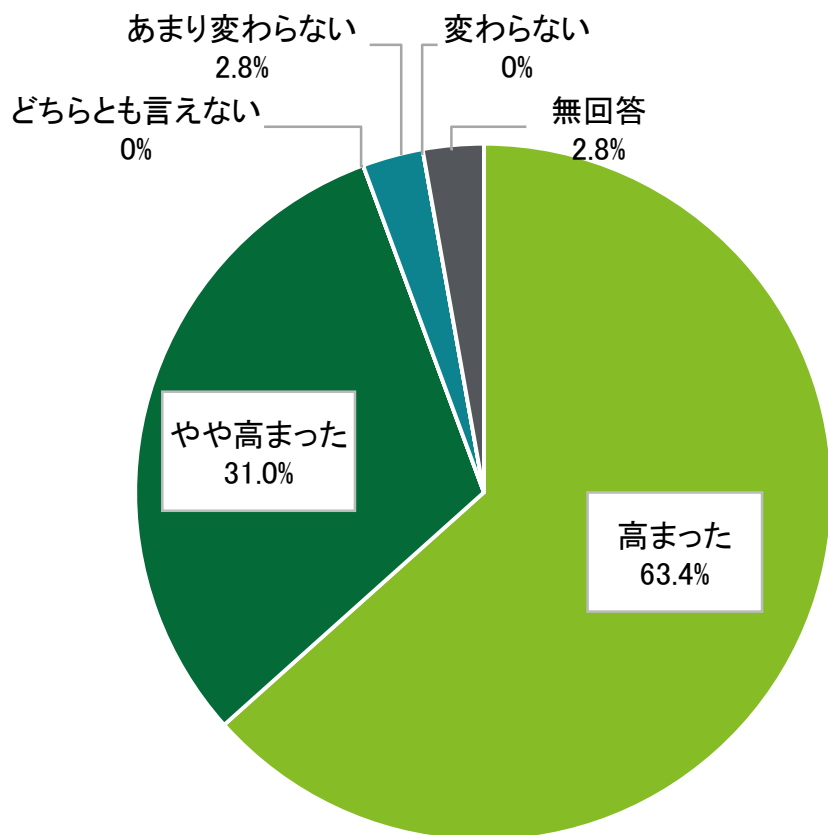
- ワークショップの時間(長さ)について、約5割の方が「ちょうど良かった」、約4割の方が「やや短かった」または「短かった」と回答しています



3. 参加者アンケートの結果 実施成果

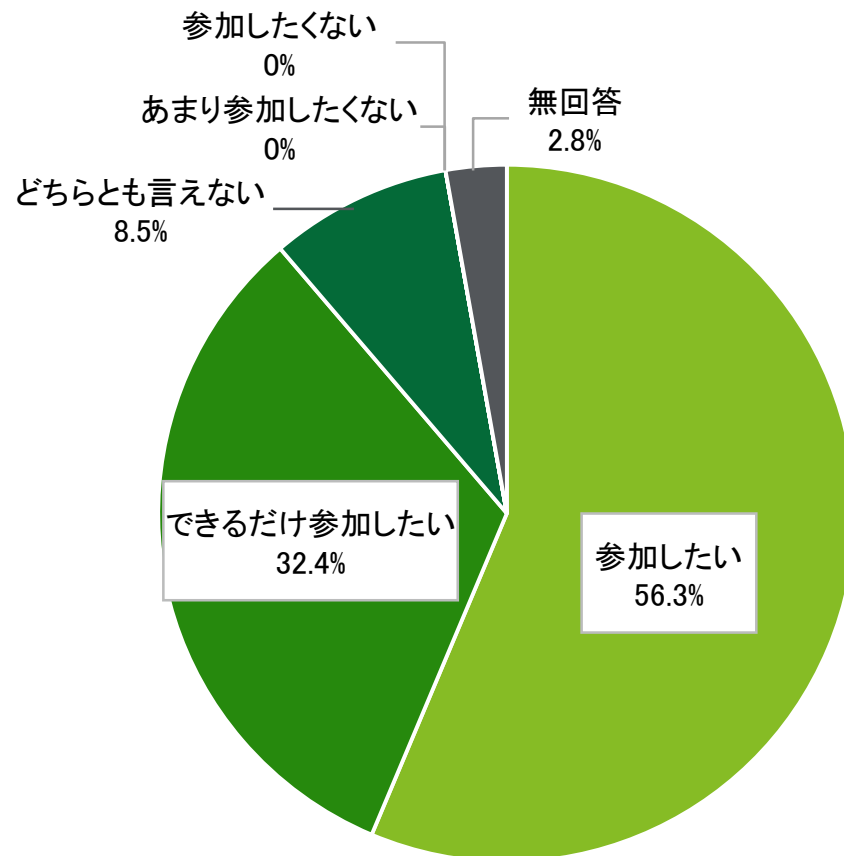
2.4 本日まで参加いただいたことで、多摩市のまちづくりに対する関心が高まりましたか

- 多摩市のまちづくりに対する関心について、9割以上の方が「高まった」または「やや高まった」と回答しています



2.5 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか

- 市民参画の機会について、約9割の方が「参加したい」または「できるだけ参加したい」と回答しています



3. 参加者アンケートの結果 その他のご感想・ご意見

本日のワークショップに対して、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください

- さまざまな世代や異なる地域に住む方と交流できたことに対して、参考になった・楽しかったという感想が多く寄せられた一方、もっと議論の時間がほしい、深く議論したいというご意見もいただきました

ワークショップ参加後の主なご感想

ワークショップは楽しかったです。いろいろな意見が出て、こんな問題があるんだと気付かされました。多摩市の事をこんなに考えたのはなかったので、良い体験になりました。これからも続けていって下さい。

若い方のご意見や、移住されてまもない方の貴重な話をたくさん聞けたので良かったです。各グループの発表の視点がそれぞれ違って楽しく参考になりました。

今回は世代などがバラバラでしたが、逆に同じ世代での話し合いが行われると、また別の化学反応が生まれると思います。2時間は結構長いなと思ってはいましたが、とても短く感じました。もっと時間が長いと、もっと深い話ができ、別の意見が生まれ得るのではないかと思います。

みなさま多摩市への愛や将来への思いがあふれていてこちらも刺激された。話し合いが活発で、充実しており楽しい時間だった。今日参加してとても良かったと思う。ありがとうございました。

ワークショップ運営に関するご意見

ワークショップ初めて参加しましたが、模造紙に付箋をはりつけるなど話し合いしやすい状況をつくってもらえたのでスムーズに進められたと思う。

事前の案内に、「総合計画」の説明、ワークショップの趣旨がもう少しあると、よりよい議論ができたと思う。チームの話し合いはおもしろかった。

アイデアを出すためのキーワード、多摩市の地図などがあると盛り上がったかと思う。PCで作成したい。

グループ内では意見を出せて楽しく過ごすことが出来ました。個々の意見をもう少し直接、市の方々へ発表出来る時間があるともっと良かったように思いました。

今後は子どもと参加する、友人と参加するなど少しハードルを下げると、WSの参加率も上がると思いました。

市政に関するご意見

前提となる市のこれまでの政策等の情報や課題を知りたいと思ったので、できるだけわかりやすく市HPなどで公表してほしい。

治安のよい、きれいなゴミのポイ捨てがなくなるような街への取り組みをお願いします。川沿いの駅方西側が特に暗い気がします。犬を飼う人のマナーの講習会を含めドッグフレンドリーな街を希望しています。

共通認識なワードが意外と多かった。市民税が高いんですね。初めてワークショップに参加してみたが、案外楽しかった。やっぱりランドマークが必要だなと。もう少し宣伝してくれたらいいな。

4. 当日の様子

4. 当日の様子 グループワークの様子



4. 当日の様子 発表の様子

